会　報
ちから
静岡市相撲連盟
会長　川上明廣
平成３０年２月
３６７号

静商相撲部ＯＢちから会
昭和30年ちから会創立
昭和39年　11月　初刊
会　長　細倉涼太
事務局　大江弘文

☆　伊東稔浩さんからお手紙を頂きましたのでご紹介致します。

「県都静岡市の自覚」

城北公園の相撲場の施設充実について、相撲連盟のメンバーが子供達の為に、活動していただいていることに、心から敬服を致しております。

野球やサッカーに比べて全く地道なスポーツではありますが、稽古で培った成果は、子供達が成人して大人になっても必ずや役に立つものであります。小生も高校時代の相撲部在籍が大きく社会人としての柱になっていることが心の支えであります。

そうした事への土俵は大切な鍛錬の施設であることは誰しもが認められる事と思います。

かつて常磐公園にあった土俵で20代の頃稽古をさせていただいたことが、今の私であると自認いたしております。

土俵の横には風呂場もありました。稽古後にひと風呂浴びて土で汚れた身体と汗を流したすがしさが今でも忘れられません。

城北公園の土俵には温水シャワーの施設がないことについて、今年度中にその設備を充実させるように働きかけております。遠くから来てくれる選手諸君にもきっと喜んで頂けることと思います。

乞うご期待を！　　伊東稔浩

・・・